次世代につなげる森林づくり

R8.11.9　NO.57 号



ノウサギ被害対策への理解を深める

～嶺北地区増産再造林推進協議会で勉強会を開催～

森林技術・支援センターでは、10 月 20 日、嶺北地区増産再造林推進協議会主催による「ノウサギ対策勉強会」が開催され、高知県、市町村、森林組合、林業事業体などの関係者が 26 名参加し、ノウサギによる苗木被害の現状や対策技術について理解を深めました。



現地で対策資材を見学

ノウサギ研究アーカイブ を活用して学習

近年、再造林の推進に伴い、ノウサギによる苗木被害への対応が重要な課題となっています。

今回の勉強会では、森林技術・支援センターが公開している「ノウサギ研究アーカイブ」を活用し、これまで実施してきた試験研究の成果やノウサギの生態、被害発生の特徴などについて紹介しました。


ノウサギ研究アーカイブを活用した講義

また、小型箱わなの開発や誘引餌の検討、センサーカメラによる調査結果などを説明し、効果的な被害対策について理解を深めました。

現地で対策資材やわなの実演を実施

講義終了後は現地に移動し、防護資材や小型箱わななどの見学を行いました。

小型箱わなの作動実演では、設置方法や活用のポイントについて説明し、参加者からは捕獲効果や設置場所の選定方法などについて多くの質問が寄せられました。

活発な意見交換も行われ、地域におけるノウサギ被害対策の推進に向けて有意義な機会となりました。


ノウサギ対策用小型箱わなの実演の様子

今後の取組

森林技術・支援センターでは、「ノウサギ研究アーカイブ」を通じて研究成果の普及を進めています。今後も関係機関と連携しながら、研究成果の普及と技術支援に取り組み、再造林の推進に貢献していきます。

各種試験調査・見学のお問い合わせは
四国森林管理局　森林技術・支援センター
088-821-2250
e-mail shikoku gijyutu★maff.go.jp (セキュリティ対策で@を★に置き換えています)